

くらしの願い、まっすぐ市政に届けます

第7号

2019年
12月18日

井本 有一
☎080-3831
-3159

日本共産党市議会議員

イモト 有 ニュース

12月議会より

今も続く同和行政

10月に芦原地区連合自治会長が逮捕される事件があり、市発注事業の落札業者をこの会長と引き合わせていた問題が明らかになり、市職員22人が処分されました。

尾花市長は「悪しき慣例を廃止し、毅然とした態度で接するように指導する」とコメントしました。

市長は同和行政との関係を否定しましたが、この事件の背景には、今も続く不公平な同和行政のゆがみがあります。

今議会では、日本共産党から森下さち子市議が質問に立ち、今回



12月議会で一般質問

の事件の温床になった芦原地区特別対策協議会と市が同和行政時代からずっと関係が続いてきたことについて質問しました。

私、井本有一は、旧同和地区子供会への巨額の補助金が今も交付されている問題と、空き家を市民に公募しない改良住宅について質問しました。

子ども会へ3400万円

旧同和施策の流れをくむ子ども連絡協議会へは2017年、3400万円が交付されています、その他の地域の子どもクラブへは168万円のしか交付されています。

問 外部監査からも子ども会交付金の公平性に問題ありと指摘されているが、どう受け止めているか。

答 交付金額の違いは活動日数や活動内容の違いによるもので、継続的にとりこんでいる子ども会を引き続き支援していく。

※ 市内全域の子どもたちに支援がいきわたる制度に変換をするべ

きです。

一般公募されない改良住宅

一般の公営住宅の空き家については公募されていますが、改良住宅はまだに特定の地域の人しか入れず、約300軒の空き家があるのに公募もされていません。

問 改良住宅条例の規定に従えば空き家について公募しなければならぬのではないか。

答 既入居者の住み替えや団地の老朽化による統合に対応できるように活用する。

※ 条例の規定はまず、公募することになっており、300軒もの空き家を確保しておく必要はないはず。



和やかに昼食中

後援会でバスツアー

10月27日に、後援会の皆さんと一緒に紀南方へバスツアーに行ってきた。

当日は天気がよく、みなさんの笑顔がたくさん見れました。

午前中は南方熊楠顕彰館へ行きました。熊楠さんの研究テーマである粘菌の標本が、顕微鏡をおして見

れるようになっていて、いままでも気にも留めなかったミクロの世界を探訪できました。

次に秋津野ガルテンで昼食をとりました。懐かしい木造校舎の教室で和食バイキングをいただきました。

そのあと、みんなで合唱をしますと「2階で会議中なので、静かにしてください。」と言われ、学校

で先生に怒られた記憶までよみがえらせていただきました。(笑)

帰りに海鮮せんべい南紀で、試食してまた満腹になり、お土産にも買って帰りました。海鮮せんべいはかさばるので、あまりたくさん買えなかったのですが、また食べたくありませんね。

インターネットの海鮮せんべい南紀のホームページから通販できるようです。

バスツアーでの○×クイズです

(答えは下に)

- ① 国連で発言した高校生のグレタ・トゥーンベリさんはフィンランドの環境活動家である。
- ② 桜を見る会は去年、予算の倍額をつかって安倍首相の後援会員を招待していた。
- ③ 和佐を流れる用水路宮井川は黒田では大門川とよばれ、その先は市堀川につながっている
- ④ 井本有一は木造校舎で学んだことがある
- ⑤ 南方熊楠は田辺市の出身である

答え

- 1) ×スウェーデンでした
- 2) ×三倍つかってました
- 3) ○つながっています
- 4) ○木造の河南中学校で学びました
- 5) ×和歌山市です



木造校舎前で記念写真